

『広島大学75年史』NOW! ⑫

2024年は広島大学の創立75周年。
75年史の編纂が進んでいます!
お手持ちの写真・資料をご提供ください。

桂 彬眞さん提供 (1965年工学部機械工学科卒業)

自動車部から派遣され、体育会の創設に関わりました。写真は自動車部が記念パレードの準備をしている所です。車窓から顔をのぞかせているのは、盟友の山根恒弘氏です。この時のご縁で現在も体育会同窓会や校友会のお手伝いをさせていただいてます。後輩諸氏の活躍を心より祈念します。



広島大学体育会発足1周年パレード準備風景 (1964年11月頃)

工学部第二類ゼミ駅伝大会授賞式 (1988年6月)



吾郷 誠二さん提供 (1990年工学研究科博士課程前期修了)

光エレクトロニクス研究室の雰囲気もあり、工学部第二類を卒業した後、大学院へ進学しました。写真は、私が工学部第二類のゼミ対抗駅伝の優勝賞品(ビール)を受け取っている所です。私の研究室は、前後の年を含めて3連覇を達成しました。多くの友人に恵まれ、充実した学生生活を送ることができて感謝しています。

連絡先 広島大学75年史編纂室 (担当: 石田) 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学文書館内
電話: 082-424-5120 FAX: 082-424-6049 E-mail: nenshi75@hiroshima-u.ac.jp

表紙は語る 第16回課外活動援助団体 広島大学体育会剣道部

生涯剣道! 世代も超えて打ち込める楽しさ。

中四国大会で優勝、そして全国大会へも出場を果たした広島大学体育会剣道部。主将の池田さんは魅力について「剣道は“生涯剣道”といわれるように引退がありません。若い方も高齢の方も、一緒に取り組みます」と語ってくれました。剣道では経験も武器になるそうです。長く続けられるのは魅力的ですね。



池田 泰士主将 教育学部3年

「剣道は厳しいというイメージがあるかもしれませんが、確かに厳しい部分もありますが、努力を重ねることは、人間としての成長にもつながります。剣道部は優しい部員が多く、練習に上下関係ありません。初心者の方も、ぜひ一度体験してみませんか?」試合とは一転、普段の練習は和やかな雰囲気です。何かに打ち込んでみたい方、剣道はどうでしょうか。



広島大学体育会剣道部の情報はコチラから▶



第15回広島県学生剣道大会で男女アベック優勝



第70回中四国学生剣道優勝大会並びに第50回中四国女子学生剣道優勝大会で女子が3位に入賞



試合前の必勝祈願



夏の練習後のスイカ割りの様子

広島大学校友会だよりvol.35

2024 (令和6) 年3月発行 (年2回発行予定)

編集・発行: 広島大学校友会事務局 〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL (082) 424-6015

E-mail soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp Webサイト https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/

校友会員をつなぐコミュニケーション誌

広島大学 校友会だより

Vol.35 2024 (令和6) 年3月



先輩 INTERVIEW

広島県参与 (医療担当)、広島大学前学長
浅原 利正さん (1971年医学部卒業)

特集

創立75+75周年記念事業が本格始動!

ラッピング電車・バスプロジェクト、カーブスポンサーゲームなど、楽しい企画満載!!

広島大学校友会学生チーム「地域を巡る」
in 霞キャンパス

Hiroshima University Alumni Association
広島大学校友会

開催報告

第17回広島大学ホームカミングデー

2023年11月4日(土) 場所: 広島大学東広島キャンパス



第17回広島大学ホームカミングデーが2023(令和5)年11月4日土、東広島キャンパスで開催されました。広島大学サタケメモリアルホールでは、オープニングセレモニーをはじめ、講演会などのさまざまな催しを行い、広島大学サタケメモリアルホール周辺では、学生によるステージやブース出展などで多くの来場者をおもてなしました。



歓迎コンサート 広島大学サタケメモリアルホール

アンサンブル“KYO-ON”による、ゲストスピーカー竹内薫さんの歓迎ミニコンサートです。



見逃し配信やっています!

オープニングセレモニー 広島大学サタケメモリアルホール



見逃し配信やっています!



学長挨拶

越智 光夫 広島大学長 / 広島大学校友会会長

広島大学創立75周年へ向け新たなスタート

「広島大学は2024年の11月5日に創立75周年、もっとも古い源流である白鳥学校の創設から150年の節目を迎えます」—広島電鉄の路面電車を広島オリジナルデザインでラッピングし広島の街を走らせるプロジェクトなど、周年の機運を盛り上げる取り組みを紹介した越智学長。「本学の歴史と、これからも挑戦し続ける私たちの思いをお伝えできたらうれしく思います」とホームカミングデーを新たなスタートと位置付け、75周年へ向けての意気込みを語りました。

表彰式 表彰を受けた方々

広島大学長表彰

●広島大学長表彰

- 一戸 辰夫氏 原爆放射線医学研究所 教授
- 大下 浄治氏 大学院先進理工系科学研究科 教授
- 廣中 明美氏 大学院医系科学研究科 契約臨床検査技師



●Phoenix Outstanding Researcher Award

- 長澤 寛規氏 大学院先進理工系科学研究科 助教
- NGUYEN VAN QUAN氏 大学院先進理工系科学研究科 研究員
- 澤渡 浩之氏 大学院医系科学研究科 助教
- 力石 真氏 大学院先進理工系科学研究科 教授
- CHIMED OCHIR ODGEREL氏 大学院医系科学研究科 准教授
- 陳 三妹氏 大学院医系科学研究科 助教



●広島大学教育賞

- 大森 慶太郎氏 病院 助教
- 鈴木 卓弥氏 大学院統合生命科学研究科 教授
- 鈴木 裕之氏 大学院人間社会科学部 准教授



『広島大学統合報告書2023』報告会

本学の活動をわかりやすくお伝えし、ご理解いただくことを目的として、昨年に引き続き「広島大学統合報告書2023」を発行し、報告会を行いました。本学の最新の情報や取り組みなど、本学の今と目指す未来を共有し、本学と皆さまとの結びつきを一層深める機会となりました。



「広島大学統合報告書2023」は、こちらからご覧いただけます



大学歌合唱

アンサンブル“KYO-ON” 広大オペラ

金管8重奏をバックに4年ぶりの合唱となりました。

講演会 広島大学サタケメモリアルホール

サイエンス作家 竹内 薫氏

AI時代に求められる思考法

サイエンス作家として、物理、数学、脳、宇宙、AIなど幅広いジャンルで科学の魅力を楽しくかつわかりやすく発信し続けている竹内薫さん。仮説を立て検証する仮説思考の重要性や、暗記型から探求型への教育改革の必要性などに触れ、自分で考え判断することの大切さを強調しました。また、AIの進化により「消える仕事、残る仕事」の例とともに、これから迎えるAI時代をどう生き抜くか、未来の展望を語りました。



世界で活躍するイラストレーター・カミガキヒロフミ氏が描いた「広島大学のキャンパスイラスト」を贈呈しました。

ホームカミング広場 広島大学サタケメモリアルホール周辺



在学生在がステージパフォーマンスやブース出展でおもてなし。連携市町の物産展では美味しい料理が振る舞われ、来場者は地元ならではの味を楽しみました。

迎える広場ステージ 北1コープショップ・食堂前広場



今回新たに設置したステージで学生パフォーマンスが会場を盛り上げました。キッチンカーも多数出店し広場は賑やかな雰囲気に包まれました。

オンライン懇親会

今年度のオンライン懇親会は「卒業生による地域活性化に取り組み卒業生を迎え、開催しました。」



懇親会



学生会館2階レセプションホールで開かれた懇親会は、ひろティーも登場し、賑やかな会となりました。



文書館

IDECxSMASO OPEN DAY 2023



国際協力研究科、IDEC国際連携機構、スマートソサイエティ実践科学研究院

学生たちが出身国の文化や食事を紹介し、ステージではダンス・パフォーマンスを披露。来場者は400人を超え、大きな国際交流の場となりました。



オベレッタ「こうもり」J.シュトラウスII世 作曲



オベレッタの代表作「こうもり」を広島大学創立75+75周年記念バージョンで上演！越智学長や原田元学長もスペシャルゲストで登場し、会場は大いに盛り上がりました。

学部・研究科等企画

第17回広島大学ホームカミングデー



総合博物館 展開ゼミ「展示作成実習」受講生による展示会



経済学部 こんなに役立つ経済学



理学部「現代科学をあなたの目で」 植物の平和大使を訪ねよう



海の生物を見つけてみよう！



中学生・高校生科学シンポジウム



植物遺伝子保管実験施設公開



隕石の展示と説明 岩石・鉱物なんでも鑑定団



先端物質科学研究科 研究室公開及び卒業生による講演会を実施



AIOT総合部 霧箱で放射線・宇宙線をみてみよう



ナノデバイス研究所 ナノデバイス・集積回路の最前線



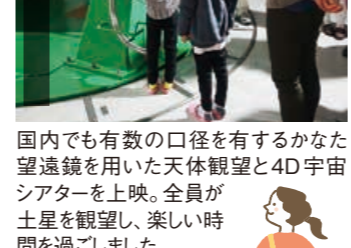
総合科学部 「総合科学部 学生独自プロジェクト」の紹介



宇宙科学センター かなた望遠鏡天体観望会



両生類研究センター カエルの指に見つかったプラス1個の骨。その意味は？



放射光科学研究センター 放射光って何？放射光科学研究施設探検



先進理工系科学研究科 そうだ！先進理工系科学研究科へ行こう



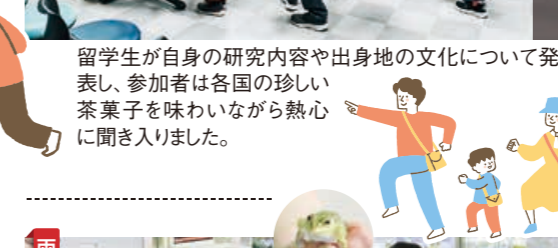
自然科学研究支援開発センター 低温実験 極低温の不思議な世界



文学部 文学部で味わう世界のテイタム



特別公開講座 「政治倫理と法 今後の法治のあり方を考える」



特別公開講座 「政治倫理と法 今後の法治のあり方を考える」



特別公開講座 「政治倫理と法 今後の法治のあり方を考える」



特別公開講座 「政治倫理と法 今後の法治のあり方を考える」

ホームカミングデーの他に、こんなイベントも開催されていました！



第72回広島大学大学祭



広島大学教育学部祭 E-storm



広島大学地域懇談会

霞キャンパス 2023年11月11日(土)

●講演会
くっついたり離れたり：細胞が体を構築するしくみ
講演者：竹市 雅俊氏 京都大学名誉教授、名古屋大学特別教授、理化学研究所名誉研究員
当日は同窓生など150名が来場。竹市先生が発見した「カドヘリン」についての講演に聞き入り、講演後の質疑応答も活発に行われ、大変盛況に終わりました。



東千田キャンパス 2023年11月2日(木)

●特別公開講座
「政治倫理と法 今後の法治のあり方を考える」
講 井上 明彦氏 広島弁護士会
師 福田 康浩氏 テレビ新広島
広島大学/堀田 尚徳准教授、湯川 勇人准教授
広島法の法曹界の方を招いて、政治倫理と法についての講義とディスカッションを開催。政治とカネをめぐる問題へ鋭く切り込んだ話に、参加者は熱心に耳を傾けました。





重ねた経験を生かす。
臨床医、病院長、学長として
広島県の医療体制を再構築。

1971年医学部卒業
広島県参与(医療担当)、広島大学前学長
浅原 利正 (あさはら としまさ)さん

1946年広島県三次市生まれ。広島県立三次高等学校から広島大学医学部に入学。広島大学医学部附属病院、県立広島病院などで臨床業務に従事。1984年医学博士取得。広島大学医学部教授を経て、2004年同大病院長に就任。2007～2015年まで第11代広島大学学長。2015年から広島県の病院事業管理者・広島県参与(医療担当)として、県立病院の経営管理等に携わる(事業管理者は2021年3月まで)。

広島大学医学部を卒業後、臨床の最前線で病気に苦しむ人々に寄り添い、肝臓がんや生体肝移植の手術法を確立された浅原利正さん。広島大学学長時代は、グローバル化の推進をはじめさまざまな大学改革に取り組みました。当時の思い出や今日までの道のり、地域医療への展望などをお話いただきました。

患者さんを前に受講した臨床講義

高校時代は受験勉強だけだったので、大学でやりたいことが山のようにありました。実はその1つが野球です。弱いクラブでしたが、内・外野からキャッチャーまで、どこでも守りました。遠征費や学費稼ごのために、6年間家庭教師のアルバイトにも励みましたね。

子どもの頃、病気がちだったせいか、臨床医への漠然とした憧れがありました。その思いが強くなったのが、医学部5・6年生が合同で受けた臨床講義です。今では見られない光景ですが、教授が難病の患者さんをストレッチャーに乗せて現れたんです。光景そのものがショッキングでしたし、同時に難しい病気に挑戦したい、臨床の現場に立ちたいという情熱も湧きました。

学生のうちに「学びの動機付け」を

第二外科で働くようになって、やっぱり臨床が好きだと実感しましたね。患者さんとの出会いで知識や情報が増えて、一人前の医師として成長できる。ただ後々思ったのは、学部生のうちに患者さんと接し、病態を聞き研究する機会があれば、「なぜ大学でこんなに専門的なこ

とを学ぶのか」をすんなり理解できただろうということ。早い時期に「学びの動機付け」を促す教育が大事だと思います。

手術室ではストレスを感じない

消化器外科に異動してからは、肝臓がんの外科治療に取り組みました。肝臓は血管でできている臓器で、メスを入れると血が止まらなくなります。そのため1985年当時、敬遠する医師が多かったのですが、他の病院へ勉強に行き、研究生時代から研究していた肝移植や免疫などの学びを応用して手術法を確立しました。



研究生時代の実験風景(左が浅原前学長)

手術室は、一番ストレスを感じない好きな場所だったんですよ。経験を積むうちに、何が起こっても対処できるようになりましたし、誰も用事を伝えにこない。目の前の患者さんに集中できるんです。

創立75周年を機に母校を振り返って

そんな一番好きだった場所を諦めて、学長に就任しました。それまで医療一筋ですから、視野が狭いし分からないことばかり。いろいろな方に協力を仰いで、他学部のことを学びました。当時の大学はグローバル化の真ただ中。そこで広島大学基金を設けて、学生が安価に海外へ短期留学できる「STARTプログラム」を立ち上げました。校友会に関しても同様です。帰国する留学生やこれから留学を希望する人のネットワーク拠点になるよう、アジア各地に海外校友会を拡充しました。

取材を終えて

広島大学のグローバル化を推進するために留学生を増やしたり、大学を良い方向へと変えていく努力をされたというお話を伺い、リーダーとしての力強さを感じました。また、「挑戦することに年齢は関係ない」という言葉に胸を打たれ、私自身、今までの学生生活を振り返り新たなチャレンジをしようと思いました。今回は貴重なお話をありがとうございました。
鈴木 智晴さん 医学部3年

臨床医、病院長、学長、広島県参与という多様なご経験をされている浅原先生が語られるお言葉には重みがあり、心に残るメッセージがいくつもありません。今もなお広島県のより良い医療のために挑戦を続けられているお姿を見て、学生の間だけではなく、医師になってからも常に挑戦し続ける人でありたいと思いました。
林 侑果さん 医学部4年

この度浅原先生から、人との繋がりを大切に、大局的な視点で物事を俯瞰すること、知的な好奇心・知的謙虚さを持ち失敗を恐れず挑戦し続けること(失敗力)が、目まぐるしい社会の変化に対応し、より良い社会を目指すこと、また自己成長へとつながることをお教えいただきました。本日はいただいた教訓を胸に社会人・職業人としての在り方を深く考え、実践して参ります。ありがとうございました。
箱田 啓志さん 医系科学研究科3年



2009年12月27日、広島大学中国校友会の支部として「広島大学上海校友会」を設立

広島大学は今年創立75周年、その前身からだと150周年ですね。60周年記念の際は、ホームカミングデーで、著名人の講演会や雅楽の演奏会など、大がかりな催しをたくさん企画しました。どれも素晴らしい。記念事業は母校を振り返るきっかけになります。在学生も卒業生も、広島大学の良いものや先輩が積み上げたものを見つめ直し、伝えてほしいです。そこから新しい発想も生まれてきます。



広島大学創立60周年記念事業(第3回広島大学ホームカミングデー)記念式典での挨拶



広島大学創立60周年記念の植樹式

広島県の将来の医療へ向き合う

2015年に学長を退任して、現在は広島県の参与(医療担当)という立場で、県全体の

医療課題に取り組んでいます。高齢化、人口減少、医師不足などに翻弄される地域医療を一から見直し、新構想として打ち出したのが、4つの医療機関を統合し1,000床規模の新病院を開設するプロジェクト(下記参照)です。完成したら、若手医師が多様な症例を経験できる場にもなります。既存の病院は統合されますが、優れた医師を多く輩出していくことで、地域医療の充実を図れると思っています。

視野を広く持ち挑戦を続ける人に

将来の医療を担う医学生に伝えたいことは2つです。まずは、職業人としても人間としても、人とのつながりを大事にしてほしいです。チーム医療なくして患者さんを支えるのは難しく、医学界に限らず多様な人と付き合わないと、視野が狭くなります。もう1つは「知的謙虚さ」を持つこと。現状に満足せず、常に上を目指して学び続けてください。失敗もすると思いますが、怖がらずに挑戦する力「失敗力」を養うんです。77歳の私でさえ今、新病院開設という挑戦を続けているんですから。

高度医療・人材育成拠点(新病院)

広島県では、県立広島病院、JR広島病院、中電病院等が一体となって、1,000床規模の新病院を広島駅の北口に建設し、2030年度に開設することを検討しています。新病院では、全国トップレベルの高度・専門医療や最先端の医療を提供し、広島大学との連携・協働により、新たな医療人材の育成・派遣の拠点として、県全体の医療体制を確保するなど予定しています。



in
霞キャンパス

広島大学校友会学生チーム「地域を巡る」

創立75周年、前身校の中で最も古い白島学校創設から150周年という節目を迎える広島大学。広島大学校友会学生チーム「地域を巡る」シリーズ第6弾では、医学系学部・研究科、大学病院などが集まる霞キャンパスを訪問。広島島の医学史が分かる資料館、意外と知られていない病院内の施設、新講義棟などを学生チームが見学し、近隣で活躍中の卒業生にもお話を聞きました。



広島県立医科大学 (呉市阿賀町・1948年頃)



移転当時の広島大学医学部 (1958年頃)



美術館に屋上庭園?! 見どころ満載の霞キャンパス

初めに訪ねたのは、診療棟近くに建つ白い円筒形の美術館「YHRPミュージアム」です。第9代学長原田康夫氏が、収集家から譲り受けた作品1,300点を大学病院に寄贈するために建設。館内はらせん回廊の造りで、2階は患者さんのリハビリに役立つよう緩い傾斜がついています。非日常感が漂う空間で、学生チームはポーランドの芸術家 レシェック・ノヴォシエルスキの陶板画などを鑑賞しました。

続いて診療棟の地下1階へ。エスカレーター横に飾られているのが、広島大学病院とモンゴル国立がんセンターの交流・協力を縁に、同国出身の白鵬関(現 宮城野親方)から贈られた優勝額。見上げるほどの大きさに圧倒されます。

一行はそのまま屋上に上がり庭園を散策。さらに入院棟の屋上に移動し、めったに足を踏み入れられないヘリポートへ。広島市内を見渡せる大パノラマを前に「開放感がすごい」と歓声が上がります。職員の小西さんの説明によると、1カ月に10件程度のドクターヘリを受け入れるそうです。



白鵬関の優勝額は、高さ3.17m、幅2.28mと見上げる大きさです。



「グリーンホスピタル」をコンセプトに屋上庭園などが設けられました。



広島大学病院が実施機関となる広島県ドクターヘリは、2013年5月1日にスタートしました。
※一般の方の立ち入りはできません。



やすらぎ(Y) 平和(H) リハビリ(R) ポーランド(P)の頭文字から「YHRPミュージアム」に



医学部生の学びやを復元した資料館

次に向かったのは、医学資料館。広島大学医学部は、1957年に呉市から霞キャンパスに移転しています。その当時、校舎として使われたのが旧陸軍兵器補給廠(しょう)だった赤レンガの建物。1978年の医学部30周年の際に、国立大学医学部初の資料館として、建物を保存・再利用することになりました。2000年には病棟の建て替えに伴い存続が危ぶまれるも、旧資料館の被爆レンガや石材を使い、当時の趣のままに再建したのが現在の「医学資料館」です。

館内の展示物は、世界初の木製人体骨格標本や、爆心地として知られる島病院の先人が収集した江戸時代の医学文献など。普段触れる機会がない数々の資料を、学生チームは熱心に見学していました。



新講義棟やアスリート御用達の施設へ

続いて医療系学生・法学部生が利用する新講義棟「凌雲棟(りょううんとう)」に向かいました。2022年完成の真新しい建物には、セルフカフェ併設の学生スペースや、大型LEDビジョン3面を備えた400人規模のホールなどがあり、学生チームからは思わず「新しくいいな〜」という声。

最後に院内に戻って「スポーツ医学センター」を訪問。こちらは、プロスポーツ選手のサポートや高齢者・ジュニアのスポーツ支援、体の動きの評価分析などを行う専門施設。負荷をかけて自転車をこぎ、運動能力や持久力を測定する「自転車エルゴメーター」を特別体験させてもらいました。



広島大学凌雲棟



近隣で活躍する広大卒業生を取材!



大場 秀樹さん
経済学部出身です!
(1989年入学)

広島県のスポーツの旬が伝わるテレビ番組を(TSS/テレビ新広島)

南区出汐に本社を置くTSS(テレビ新広島)。経済学部卒業の大場秀樹さんは、同社メディア本部のスポーツ部長として活躍中です。大場さんの学生時代はラグビー部の活動中心でしたが、「人に何かを伝えて、人とつながれる仕事」を目指してテレビ業界へ。今日まで主にスポーツ部で、プロアマ問わず数々のアスリートを取材してきました。

「全力応援 スポーツLOVERS」や「広島県スポーツ振興チャリティゴルフ大会」などは、大場さんのプロデュース番組。今も現場に足を運び、選手と何でも話せる泥臭い関係を築くことをモットーにしているそう。「やっておけばよかったという後悔がないように、今を一生懸命に!」と学生チームを激励してくださいました。

大場さんがプロデュースしている番組
「全力応援 スポーツLOVERS」
土曜日18時30分放映中!



花がもたらす潤いと癒やしを届けたい(フルリストヴィレ)

可憐なバスケットブーケを手に、待ち合わせ場所にきてくださった町恵子さん。広島大学で心理学を学び、現在は南区比治山町で花&自家栽培ハーブのオンラインショップ「フルリストヴィレ」を運営されています。

学生時代、たまたま通りかかった花屋のブーケに魅了されて花に興味を持ちはじめたこと、2年前に念願の店をオープンしたこと、心理学の視点を生かして花をセレクトし、オーダーに真摯に取り組んでいることなど、学生にとって興味深い話は尽きません。「タイパ重視の世の中だからこそ、花を通してゆったりした時間を持ってほしい」という町恵子さんの言葉に、みんな大きうなずいていました。

フルリストヴィレHP <https://fleuriste-ville.com/>



町 恵子さん

教育学研究科出身です!
(2003年入学)

周辺マップ & 霞キャンパスマップ

京橋川 比治山 中国四国管区警察学校 広島大学霞キャンパス 東来軒 キッチンTomoe 株式会社テレビ新広島 広島大学霞キャンパス正門付近 広仁会館 霞会館(食堂・売店) 講義棟(凌雲棟) 大型LEDビジョン3面は圧巻です

504 スポーツ医科学センター Sports Medical Center

解体新書 医学資料館 フォトミラーハウス 正門 YHRPミュージアム YHRP美術館 ヘリポート 健康情報プラザ(診療棟2階) スターバックス コーヒー(診療棟1階) ほのぼの図書館(入院棟2階) カフェ・レストラン ラコントル(入院棟2階)

大学病院近くの「キッチンTomoe」でランチ 医学部に長年愛されてきた「東来軒」

診療棟や入院棟にはこんな施設もあります!

取材を振り返って

やりたいことを実現し、いきいきと働いていって先輩のお話を聞くことができた貴重な機会でした。勉学や部活、アルバイトに取り組むことはもちろん、モチベーションを保つ自分なりの方法や、向き不向きを大学生のうちに分析し、将来を見据えて行動することが大切だと学べました。

森 柚香さん 文学部2年

霞キャンパスは大学病院もあることから、さまざまな人が使いやすい環境であると感じました。

また、先輩方のお話の中で、大学生活の自由な時間を有意義に過ごしてほしいという言葉が非常に印象に残りました。私自身残り少ない大学生生活を充実させたいと思いました。

久保 菜々美さん 法学部4年

霞キャンパス周辺を訪れるのは初めてでしたが、大学病院があるということもあり、大学と町が共存しているなという印象を受けました。また、先輩方のお話の中で「自分がやりたいことを見つけるのが大切である」という点が共通しており、時間のある大学生活の中でやりたいことをしっかり見つけようと感じました。

横山 幹太さん 経済学部2年



第16回ドリームチャレンジ賞受賞団体

ドリームチャレンジ賞は、未来社会を担う広大学生に、学術・文化・スポーツ等における自主的な活動の資金を支援する制度です。

広島大学東雲混声合唱団パストラル
大学合唱の集大成へ！一期一会のコンサート
 団 長 玉野茜絵さん 教育学部3年(中央)、副団長 坂谷内賢さん 理学部3年(左)
 正指揮者 永井 翔さん 教育学部3年(右)

60年以上の歴史を誇る「広島大学東雲混声合唱団パストラル」をご紹介します。パストラルは、定期演奏会「パストラルコンサート」をはじめ、地域のイベントやミニコンサートなど、年間を通して活動しています。パストラルとは、牧歌的、田園風といった意味。当時の東雲キャンパスが田園に囲まれていたこと、広島県で6番目に誕生した合唱団であることから、ベートーヴェンの交響曲第6番「田園(Pastorale)」にちなんで名付けられたそうです。どのような活動なのか、団員の皆さんに詳しく伺いました!

自分たちで企画・運営する合唱団

玉野：在籍メンバーは約50名で、一番の特徴は学生が運営していることです。中学・高校のような顧問はいなくて、自分たちでアイデアを出し合い、練習からイベントまでつくり上げていきます。何をするか決めるのは自分たちで、名前どおり伸び伸びと自由な雰囲気です。

坂谷内：もともとパストラルは、演奏旅行が活動の起源です。そのため大学だけでなく、さまざまな場所で多くの方と関わります。例えば今年度では、地域の小学校や施設を訪れたり、他大学の方とジョイントコンサートを開催したり、有名な合唱指揮者を招いたり、活動は多彩です。

コロナ禍を経験して「つながるバスト」へ

永井：コロナ禍では、思うように活動できませんでした。練習は主にオンラインで、集まるときも一定の距離を空けて、マスクを着用する必要がありました。たくさんのイベントも中止になりました。それでもなんとか続けられたのは、団員のみんなの強い思いがあったからです。先輩方から引き継いだパストラルを何としても次へつなぐ。その思いです。苦しいこともありました。定期演奏会「パストラルコンサート」も開催でき、ようやくみんなとつながるようになりました。

玉野：今年度開催のパストラルコンサートは記念すべき第60回です。そこで、ドリームチャレンジ賞を活用して、「東広島芸術文化ホールくらら」で開催しました。「つながるバスト」を合言葉に、メンバーはもちろん地域や他大学、関係

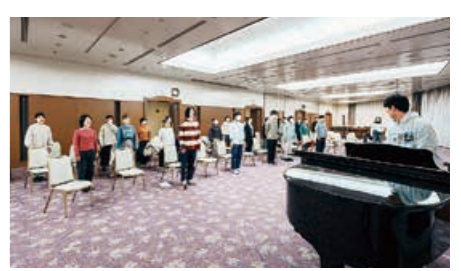
者の皆さん、そして観客の皆さんとつながれるように取り組み、OB・OGの皆さんにも本当にお世話になりました。コロナ禍を乗り越えて復活させたパストラルコンサート。ここで得られたつながりは特別なものと感じています。

同じ音色は二度とない

坂谷内：メンバーの学部はバラバラで、それぞれが違った目標に向かって努力しています。そんな中「声」だけをみんなで持ち寄って、一つの歌をつくり上げる。異なる個性が合わさる瞬間が、何より楽しいです。

永井：団員は毎年少しずつ入れ替わり、団のカラーも変わります。高校のように同じ指導者がいるわけではなく、社会人のように同じメンバーで続けるわけでもありません。今のメンバーで集まれるのは今だけ。大学合唱ならではの自由さ、その時にしか出せない音色が、パストラルの魅力です。

玉野：合唱といっても、格式高くはありません。経験・未経験も関係なく、みんなで楽しく歌おう!という雰囲気です。新入生や学生の皆さん、ぜひ気軽に遊びに来てください。一緒に歌いましょう!



広島大学東雲混声合唱団パストラルHP



75+75 周年記念事業がいよいよ本格始動します!

1874 (明治7) 年創立の白鳥学校を最も古い源流とし、1949 (昭和24) 年に新制大学として発足した広島大学は、2024 (令和6) 年に創立75周年、前史を加えると150年の節目を迎えます。2024年11月の記念式典に向け、広島大学はさまざまな記念事業を展開していきます。

75+75 特設サイト▶



広島と共に。広大×広電 75+75 周年ラッピング電車・バスプロジェクト

広島電鉄の路面電車とバスを、広島大学オリジナルデザインでラッピングし、2024年1月から1年間、広島街で走らせるプロジェクトがスタート! ラッピングのデザインは学内で公募し、学生や職員の提案をベースに決定。また、フルラッピング電車を実現するため、クラウドファンディングにて寄付を募り、同窓生や地域の皆さまをはじめ、多くの方々の多大なるご支援により完成しました。

現在の東千田キャンパス前の「日赤病院前」の電停は、以前は「広島大学前」、設置された大正元年当時は「高師範前」と呼称されており、広島大学と広島電鉄は長いお付き合いがあります。今後も、本学の歴史と、本学の挑戦し続ける思いを多くの皆さまにお伝えしていきたいと考えています。

越智学長も電車にサインをしています。電車をお見かけの際はぜひ探してみてください。



運行ルート・期間

路面電車

- ・ル ー ト: 主に市内線1号線 (広島駅~広島港間) を1日約6往復程度運行
- ・運行期間: 2024年1月15日 (月) より1年間

路線バス

- ・ル ー ト: 主に市内線2号線 (県庁方面~府中・温品方面) 6号線 (牛田方面~江波方面) 等
- ・運行期間: 2024年1月15日 (月) より1年間



お披露目式

2024年1月15日、広島電鉄千田車庫において電車・バスのお披露目式を開催しました。式典では、越智学長が、「世界から選ばれ、地域に愛される大学をめざしている。地域と一緒に広島を盛り上げたい」と述べ、卒業生でもある広島電鉄株式会社 椋田社長からは、「職員や学生の思いが結集されたデザイン。広島の盛り上げに参加できて嬉しい」とのお言葉をいただきました。その後、ひろティーをデザインしたイラストレーターのカミガキヒロフミ氏による電車へのサインに続いて出席者によるテープカットを行いました。



挨拶する椋田社長 電車・バスのデザイン案作成者の引地奈津子さん (左) と吉朝開さん (右) 越智学長とカミガキヒロフミさん

クラウドファンディング

プロジェクトの実現と事前PRのため、2023年10月26日~12月25日の間でクラウドファンディングにも挑戦しました。

クラウドファンディング開始から56日目の12月20日に当初の目標金額1,000万円を達成し、最終的には、294名の皆さまから総額14,479,000円のご寄付をいただきました。改めまして、温かいご支援に加えて、応援や励ましのお言葉をいただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。いただいたご支援はラッピング電車の施工作業費等の費用として大切に使用させていただきました。

<https://readyfor.jp/projects/hirodai150th>



2024 ひろしまフラワーフェスティバルに出展します!

広島大学校友会は2024年5月3日~5日に開催される「2024ひろしまフラワーフェスティバル」に参加いたします!皆さまに周年記念事業を知っていただき、広島大学をもっと身近に感じていただけるよう、本学のさまざまな学生団体が工夫を凝らした楽しいパフォーマンス・サークル体験を行います。

今年のゴールデンウィークは広島に来てみませんか。

2024ひろしまフラワーフェスティバル開催日

2024年5月3日 (金・祝)~5日 (日・祝)

<https://www.hiroshima-ff.com/>



校友会学生チームがお出迎えします!

参加者募集! 2024ひろしまフラワーフェスティバルのパレードに参加しませんか?



5月3日の11:00~14:30に行われる「花の総合パレード」に、広島大学校友会も参加します。パレードで共に歩いていただく一般参加者を大募集!! 参加をご希望の方は右記QRコードもしくは校友会事務局宛のメールから奮ってご応募ください。

※応募多数の場合は抽選となります。また、現地までの交通費等は各自ご負担ください。応募の詳細は申込フォームをご確認ください。

申込フォーム▶



広島大学 カープスponsoredゲーム

創立75+75周年記念事業をより多くの方々に認知いただくために、広島スポーツ界の代表的存在である、広島東洋カープとタイアップしたスポンサードゲームを実施いたします!

試合当日は、1塁側内野指定席に本学の応援団もスタンバイ。広島大学オリジナルCMの上映を始め、贈呈式や始球式、CCダンスへの参加など内容盛りだくさんの企画を準備して球場を盛り上げます。さらには球場内ライト側コンコース沿いの「どうぶつ広場」にてPRブースも展開。各種展示や体験コーナーを設けて皆さまのご来場をお待ちしております。5月17日は、ぜひチケットを入手して、一緒にズムスタで観戦しましょう!!



始球式

「アジアの科学者100人」に選出
先進理工系科学研究科
片山 春菜助教

- 開催日: 2024年5月17日 (金)
- 開催場所: MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島
- 開催時間: 18:00 試合開始
- 対戦カード: 読売巨人軍

校友会・体育会同窓会・千田塾 共催

「75+75 周年記念写真展 (仮題)」

法学部等の広島市内への移転に合わせて、本学の歴史を紹介する写真展を福屋八丁堀本店で開催します。東千田キャンパスの歴史に関する写真などを展示するとともに、本学のさまざまな取り組みをPRするブース等の展開も予定しています。



広島高等師範学校 1914 (大正3) 年



開学当時の東千田キャンパス 1949 (昭和24) 年 移転前の東千田キャンパス 1973 (昭和48) 年頃

- 開催期間: 2024年8月22日 (木)~27日 (火)
- 開催場所: 福屋八丁堀本店7階会場
- 住 所: 〒730-8548 広島市中区胡町6-26



広島大学校友会 投稿写真サイトがオープン!

キャンパス内での日常風景や学生時代の思い出の写真などを、自由に投稿していただけるサイトを公開いたしました。

クラブやサークルでの記念の一枚、よく食べていた学食メニューなど、多くの皆さまからの投稿をお待ちしております。

一緒に周年記念事業を盛り上げましょう!!



投稿フォーム▶
phoenix7.hiroshima-u.ac.jp



オリジナルラッピング電車・バス車内への広告掲載を受け付けています!

車内広告も1年間募集します。興味・関心のある方は広島大学基金室までお問い合わせください。

電車

<https://www.hiroden.co.jp/ad/train-adAll.html>



バス

<https://www.hiroden.co.jp/ad/bus-inside.html>



お問い合わせ先: 広島大学校友会事務局 〒739-8511 広島市鏡山1-3-2 TEL (082) 424-6015 E-mail: soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp

広島県外のイベントや記念式典当日のイベント準備も進行中です!

広島大学 in 関西

開催日時: 2024年6月22日 (土) 13:00~16:50

会 場: コングレコンベンションセンター (大阪市北区)



広島大学 in 東京 2024

開催日時: 2024年9月21日 (土)、22日 (日・祝) 21日 14:00~17:00 (予定) 22日 9:00~12:00 (予定)

会 場: 一橋講堂 (東京都千代田区)

75+75 周年記念式典・記念事業

開催日時: 2024年11月2日 (土)、3日 (日・祝) 2日、3日ともに 9:45~(予定)

会 場: 広島大学東広島キャンパス

広島大学同窓生ネットワーク 広島大学ベトナム人同窓生 レセプションを開催!

2023年12月15日、ベトナム・ハノイで広島大学ベトナム人同窓生レセプションを開催しました。本学のサテライトキャンパスを設置予定のタイゲン農林大学との協定締結の機会にベトナムを訪問した越智学長をはじめ、20人以上の同窓生のほか、本学が実施しているベトナム内務省エグゼクティブ教育プログラムの修了生も参加し、会にはぎやかな雰囲気です。

越智学長の開会の辞に続き、V・C・M在福岡ベトナム総領事が登壇し、広島大学同窓生ネットワークを通じたベトナムと日本の友好関係発展への期待について述べました。また、ベトナム建設省都市開発局のチャン・ゴック・リン氏は、同窓生を代表して「広島大学がベトナムでさまざまな事業を展開することを大変うれしく、誇りに思う。同窓生としてもできる限りの支援をしていきたい」とあいさつしました。

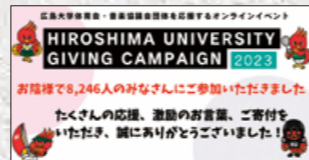
参加した同窓生たちは、留学時代の思い出話や互いの近況などを語り合い、心温まるひと時を過ごしました。本レセプションを機に、ベトナムとの産学官連携促進が期待されます。



Network 広大ネットワーク

オンラインチャリティーイベント 「GIVING CAMPAIGN2023」へのご支援ありがとうございました!

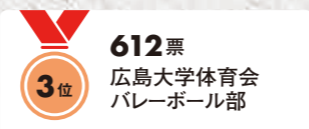
2023年10月23日～10月29日に開催した本学体育会・音楽協議会団体を応援するオンラインイベント「GIVING CAMPAIGN2023」において、8,246人のたくさんの方々から温かい励ましのメッセージやご寄付をいただきました。



卒業生の方だけでなく、地域の方などさまざまな方から応援いただき、本学体育会・音楽協議会団体の活動を、本当に多くの方が応援くださっていることをあらためて感じる事ができました。

皆さまの応援を糧として活躍できるよう努力を重ねてまいりますので、今後も引き続き温かい応援をお願いいたします!

ランキング3位までの団体名と票数



投票結果の詳細や各団体からの結果報告はこちらから
<https://autumn2023.hiroshima-u.giving-campaign.jp/>



広島大学関東ネットワーク 「広大東京まなびの会」を開催!

2023年12月12日、「広大東京まなびの会」を東京オフィスで開催しました(参加者29名)。広島から首都圏に上京して活躍する同窓生、これから東京での生活に挑もうとする在校生の支援をめざして立ち上げられた本会の記念すべき第1回は、「社会人の資産形成」と「新居探し」というピックアップを設定。業界の最前線で働く方々による目から鱗が落ちるようなお話や、新生活を控えた在学生の悩み相談も含めて、エキサイティングな議論ができました。

本勉強会は、今後も継続して開催予定です。次回は参加してみたいと興味関心がある方、また勉強会のアイデアをお持ちの方は、ぜひ東京オフィスまで!



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/tokyo>



広島大学広報誌 『HU-plus』vol.23 (2024年1月号) を発行しました!

毎年3回発行している、広島大学広報誌『HU-plus(エイチ・ユー・プラス)』。今号の特集は、「世界の“食”を守るために—広島大学の畜産研究に迫る—」。開発途上国を含めた地球上のすべての人が十分な栄養を摂取し、世界から飢餓をなくすためには、どのような技術や施策が必要か?畜産業に改革をもたらす広島大学の研究について取り上げています。

そのほかにも、フリージャーナリストの池上彰氏と越智学長による対談や「AERAが書く研究者の素顔」など、盛りだくさんの内容です!ぜひご覧ください。



希望される方には無料で発送いたします。
下記、お問い合わせ先までメールでご連絡ください。
広島大学広報室 E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学校友会 Phoenix Mallに新店舗追加!

広島大学の卒業生が関わるお店などを紹介するサイト「広島大学校友会 Phoenix Mall」。2023年度は4店舗を新たに追加掲載いたしました。友人とのランチや職場の懇親会などでのお店選びなど、校友の交流を深めるさまざまなシーンでご活用ください。掲載希望や情報提供も随時受付中です!!

新たな4店舗 <https://phoenix5.hiroshima-u.ac.jp/>



**ヘルシーダイニングキッチン
COUVERCLE(クヴェルクル)**
フランス料理店

熊野焙煎工房
コーヒー豆の焙煎・販売

レコードバー野中サンハウス
音楽を楽しむバー

COCORON(ココロン)
パンの製造・販売

広島大学校友会 2023年度学生支援の報告

広島大学校友会は、ドリームチャレンジ賞と課外活動援助金を2本柱に毎年会員が学生への支援を行っています。2023年度はドリームチャレンジ賞が31件の提案に対して720万円の助成、課外活動援助金は23件のクラブ・サークルに約410万円の援助を行いました。

新年度の支援については、5~6月頃に詳細を発表する予定です。在学生校友会正会員の皆さま、奮ってご応募ください。



ドリームチャレンジ賞
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/dreamchallenge2023>



課外活動援助金
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/kagai2023>



読者プレゼント

読者の皆さまからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計15名様にプレゼント! 厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表とさせていただきます。

応募締め切り: 5月7日(火)

アンケートはこちらから→



A 株式会社テレビ新広島

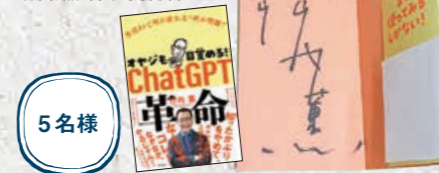
TSSフューチャースマイルプロジェクト
オリジナルグッズ2点セット
(マグカップ、ボールペン)



5名様

B サイン入り

「オヤジも目覚める! ChatGPT 革命」
竹内 薫 著 徳間書店



5名様

C 広島大学校友会

オリジナルグッズ「モバイルバッテリー」



5名様

親子3世代広大出身者を探せ!

おじいちゃん・おばあちゃんからお孫さんまで、親子3世代で広島大学に在籍・卒業(修了)した方々をご紹介します。

広島県在住

藤井家

父は工学部電気工学科(1964年卒業)で広島大学名誉教授、私は工学部第四類/建設系(1994年卒業)、息子は医学部保健

学科(2021年卒業)の親子3世代です。さらに私の夫と姉夫婦2人とも工学部卒で、ほぼ工学部だらけの家族です。姉の夫は父と同じ学科なので、父の授業を受けていたのはもちろん、私の夫も学科が違うのに父の授業を受けに行っていました。それから父は、広島大学学生情報の森「もみじ」の立ち上げメンバーでした。その「もみじ」を活用して学生生活を送っていたのが息子です。つながっていますね。写真は、①父の学生時代、②私たち夫婦の東千田キャンパスでの6月祭、③姉夫婦の少林寺拳法部25周年記念祭での演武、④息子の広島大学医学部薬学部硬式庭球部、とそれぞれの広島大学在学中のものです。昭和、平成、令和と親子3世代、家族で、東千田キャンパス、東広島キャンパス、霞キャンパスで思い出がいっぱいです。

親子3世代情報募集中! 自薦・他薦は問いません。お待ちしております!

連絡先: 広島大学校友会事務局 E-mail: soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp



医学部(2021年卒業)
息子: 藤井 映輔です。

工学部(1994年卒業)
本人: 藤井 由香です。

工学部(1964年卒業)
父: 山下 英生です。
広島大学名誉教授